夕刊
磐城時報
十六日發行

福島縣平市紺屋町十四 編輯兼發行 印刷人 岡田弘成
福島縣平市紺屋町十四 印刷所 磐城時報社
福島縣平市紺屋町十四 發行所 磐城時報社
一部金武錢 一ヶ月金廿錢
廣告料一行十四字詰五十錢
日刊（日曜祝祭日）翌日休刊

好成績に終つた 石城の海兵檢査
竹内大佐激賞

平市公會堂で執行した平市並に石城郡下の海軍志願兵檢査は十三日終了したが、志願者總數百四十名、中合格人員市部十名、郡部六十九名、合格率七十三%で前年の四十六%に比し好成績であつた、徴兵官竹内大佐は語る。

『受檢者の熱心なのには敬服した、好間村の沖田芳男君の如きは不合格に屈せず身心を鍛練して四回目に見事合格しまた勿來町の安島參郎君は學力試驗で滿点をとるなど海國日本を背負つて立たうといふ積極的な精神を物語るものだ

養鶏組合 聯合會組織

石城郡養鶏組合聯合會創立總會は十五日泉村に開き、規約制定役員を決定したが、郡内全組合に對し入會を慫慂する事になつた。

▲會長鷲崎昇▲副會長江尻博孝▲評議員好間、小名濱、江名、勿來、大野各組合▲幹事渡邊、泉組合

鮪船東日本丸 昨年十七萬圓漁獲
初年度好成績

小名濱町東日本漁業株式會社では東北振興株式會社から遠洋漁業船東日本丸（建造費十五万八千圓）を借りうけ昭和十三年度から本格的の漁業に着手したが昨年度の成績を開くと漁獲高十七万五千圓に達した、年賦償還金二萬圓を差引いて一万余圓の純利益を見たわけで、更に本年の飛躍に乘出す事になつた。漁場は南洋カロリン諸島附近で一航海三十五日、神奈川縣三崎港に陸上げしてゐる

俵米審査

草野村俵米品評會の審査は十五日行つた

三和炭礦で 二十圓獻金

赤井村三和鑛業所從業員一同は新年會の費用を節約二十圓を十六日平署を通じ縣の軍人後援會に寄附した。大浦村大字長友の小學校通學團も稻穗拾ひをして得た金五圓を同村恤兵金に獻金した

四倉署寒稽古

四倉警察署では昨十五日より二十二日まで八日間武道寒稽古を開始したが、弓道、柔道等は磐城セメント四倉工業所内演武場で毎日午後三時より開始するが一般の參加も歡迎する

渡邊巡査轉任

四倉警察署會計係渡邊米吉氏は此程坂下警察署會計に榮轉する事になつた、後任は紺野吉三郎巡査で、同氏は第一線から歸還した勇士である。尚渡邊氏は二十日出發の豫定である

ガスのある 坑内に轉落

好間村堂の内日曹小田礦業所運轉夫仙臺市生れ武藤[illegible]美君（二五）は十五日午前九時頃同礦排水作業中坑内に轉落ガスのため窒息死亡した

一、口腔外科
一、レントゲン科
中野齒科
平市田町（電五〇九）
院長 中野恵次

大日本勿來坑で ガス爆發の椿事
死傷十名に達す

勿來町酒井大日本炭礦勿來坑中央坑七百米の坑底で十五日午前六時半ガス爆發し折柄入坑作業中の左記坑夫十名が死傷した

▲即死 茨城縣那珂郡神崎村關芳之助（三七）▲岩手縣東磐井郡大原町生れ菅原溝（三三）▲同町生れ及川祐助（二二）▲山形縣西村山郡川上村生れ澁谷三郎（四〇）

▲重傷 大宰定治（三八）枝華留（三〇）板橋榮次郎（三三）高橋政九郎（三七）

▲輕傷 青柳政一郎（二四）鴫原勉（三七）

海中に轉落

小名濱町字横町馬上松太郎方漁夫山形縣置賜郡加茂町字今泉生れ齋藤勝三郎（十八）は十四日午前九時頃江名町沖合で底曳網漁業中ロープに捲かれ海中に轉落溺死した

豊間の山火事で 住家危險に瀕す
警防團員が消し止む

十五日午前十時豊間村大字沼の内山林から發火したが附近に百五十戸の住家があるので高久、豊間兩村警防團員百余名出動消火に努め正午鎭火したが、一時は大騷ぎであつた、原因は山芋堀りの煙草の火である

銃後に咲いた 軍國美談
戰死者宮本君の絶筆

平市五丁目スピーディ自轉車工場大内百吉氏方職工好間村椎木平柴田部隊上等兵宮本英二（二三）君は中支戰線で活躍中去月十九日名譽ハ戰死を遂げた旨十五日實家に公電があつた。

英二君の父惣吉（六四）さん母てるよ（五八）さんは十五年前長男惣三君、長女つねよさん、二男英二君を連れて宮城縣伊具郡丸森村から移住、日曹好間礦の前身小川炭礦に來り長男惣三君と共に坑夫として働いてゐたが、九年前惣三君が坑内で落磐の爲め死亡、惣吉さんも七年前五十六才の時ダイナマイトで片腕を奪はれ一家の支柱を失つた宮本家では當時十六才の英二君をスピーディ工場に依頼し自分は會社の情に縋つて浴場番人として生活してゐるうち英二君入營の日が來た、入營に際して宮本家に同情を寄せたのは惣三君の同僚であつた坂本正二君で『銃後は俺が引受けた、安心して行つて來い』と英二君の姉ツネヨさんの婿となり父惣吉さんの風呂番を止めさせて英二君の入營を激勵し一般を感動させたが、戰死の三日前に大内百吉さんに寄せた手紙によつても如何に正二君の厚意を謝してゐるか判る。

『渡支以來元氣です、正二兄さん夫婦の御厚意によつて安心して奮闘出來る事を幸福に思つてゐます。先日も〇〇山の歩哨に勤務し歩哨線を監視してゐた夕刻でした。二百五十米位前方に三匹の猪が現はれたので一撃を加へると命中したが腹から血を流しながら逃げて行くので更に一發を放ち倒しました。五十五貫余ありました。隊の將兵一同で猪飯をたべました、銃聲は近くに聞えます。

十二月十六日

曠漠たる野戰地で 昭和十五年を迎ふ
中支警備地にて 井上吉男

母國を離れて幾百里、異郷曠漠たる野戰の地にありて光輝に充てる昭和十五年を元氣で迎ひました。社員御一同樣にも益々御壯健にて新年を御迎ひ遊ばされた事と存じます。昨年中は出動轉戰に取紛れ御無音に打過ぎ申譯ありません御赦し下さい。我々は只今の所漢口を去る事何十里〇〇地にありて次期作戰の準備に備ふべく日夜警備の任に奮闘致し居りますが、戰禍に晒された支那家屋故屋根は破れて雨に咬みを來れ、壁は落ち風荒ぶ陣中の宿なれど歩には故里の山河懐しき家郷を偲び居ります矢先當社より御叮寧にも慰問號として聖戰下に執行せられたる意義深き各議員の經過報告や、故里の様子をこまかと御知らせ下され、熱誠溢るゝ御便りは只々感謝感激の外ありません。慰問號の辭に依りますれば四月八月にも慰問號御送り下されたる由連絡不便な地に居ろ關係か受領せず隨て禮狀も出さず誠に申譯ありませんでした何卒右の事情御推察の上御容赦願ます。我部隊は常に交通不便なる第一線警備を續行して居りますので故里からの便りも長い月日を要するが常であります、其變り敵と對抗して居る距離は近く毎夜の如く銃聲を耳に致します。皆々樣も新聞やラヂオ等にて見聞なされた事とは存じますが、今度當聯隊では各所に潜伏して居る敗殘兵や土匪の活動活潑となりました爲、大討伐戰を行へ敵に大打撃を與へました、然し十二月故眺望悉く霜に被はれ、すべての地物は眞白い色を以て潰され風は冷たく、其中に嚴として狩立して居る歩哨の眼は暗黑に輝いて劍には氷の花が咲き物々しい警戒の夜を續けました。だが兵士は昔の諺を想起し、梅は寒氣を經て始めて清香を發するとか、我々は又酷寒に身を晒して千辛万苦を經めて聖戰の目的が達成出來得るものと喜び勇んで赤誠を捧げ奉る軍人の本分を遺憾なく發揮致し居りますから何卒社員御一同樣へも宜敷く御傳へ下されん事を願ます。先は御禮旁々近況迄　草々

四倉驛成績

四倉驛十二月分の成績左の如くである

乘車人員一万八千九百九十二人、降車人員一萬九千二百八十九人、乘車賃金六千百七十一圓二十七錢

第一線から 郷里に寄附

四倉本町長谷川食堂事直喜氏養子長谷川貞治（二二）君は中支方面で活躍中であるが去る九日同町在郷軍人分會、國防婦人會、小學校に五圓宛十五圓を寄附した。

小名濱町に コソ泥横行

最近小名濱町にコソ泥橫行、去る十三日小學校[illegible]外七教室の備品、庶務園、額緣等を盜取した犯人あり、平署で搜索中である

平市人事錄

〇婚姻 北目町紫野[illegible]大（三〇）赤井村羽賀セト（二〇）

▲死亡 幕の内吉田[illegible]彦（一七）

天氣豫報

今晩は北西の風晴れ明日北の風晴後天氣次第に惡くなる

…出前迅速…
御料理
"むぎとろ"
さつき
平市紅小路 電四八八

關内藥[illegible]

冬の鑛泉
石城の桃源境
小瀧鑛泉
湯本・小名濱間景勝の地
御送迎に馬車の用意あり

『小學生の作文』

兒童文集「あゆみ」から

平第一校尋五　立花　久

乞食とけんくわをした

この間四時町の方から元氣のよい乞食が歩いて來ました、よく見ると、いつか僕の家へきて惡口を言つて行つた乞食でした。山にのつて見てゐると。大島さんの家へ行つてうたをうたつてゐました、いくらうたつても出てこないので『この』と言つて行つてしまひました。今度は赤井さんの家へ行つて又惡口を言つて行つてしまひました今度に僕ノ家へきたので近まはりをして玄關の戸をみんなしめてしまひ、そしてお母さんの所へ行つて『乞食かきたよ』と言つたら、お母さんが『しづかにしてなよ』と言つたから押入の中へ入つてみた。乞食か間もなく家の玄關の前で『ムニャ〜〜』何か言つてゐたので『何にもない』と言つたら『以にもないな〜そたつぺ』と言つたので又大きな聲で『何にもないよ』と言つたら、おこつたのでせう。『ちよつと出てこい』と言つたので、押入から出て、玄關の戸の障子をあけて、『なんだ』と言つた。『用あんだ、ちよつと出てこい』と言つたので靴をはいて出て行つて見ると、私ではたくやうなかつかうをしたので、石をポケットへ入れて『何だと』言つたら『お前とけんくわやつぺ』と言つたので『よし』と言つてポケットから石を出して投げるまねをしたら『まて〜〜卑怯だぞ』とゐばつかうして行つてしまひました。その時、しきぶとんの上にゐたチビもジョンも目をさましてキャン〜〜ほえましたので、乞食は急いで歩いて行つてしまひました。僕はチビとジョンに『キョシキョシ』と言つたら出て行きませんのでむりに引つぱつて行きました。乞食の近くへ行つたらチビとジョンはものすごい勢で走つて行きました。そして赤坂さんの家の前でわん〜〜ほえてはなれなかつた。乞食は石をチビの背中にぶつつけたのでチビはおこつて口を大きくひらき、勢よくとび上つて行つた乞食はとう〜〜にげて行つてしまひました。チビとジョンを家の中へ入れて二匹をあそばせました。少したつてから今度はおぢいさんの乞食が來ました、かはいさうなので二錢くれてやつたら『ありがたいありがたい』と言つてびつこを引きながらとなりの近藤さんの家へ行きました

洋酒と喫茶
麗人のサービス
氣分本位の店
タイラ・ギンザ通り
グリル　バッカス
電七二〇番

御誂ご既製品
（高）髙橋靴屋
電話三八六番

コンポーク
豚
平市田町
三三屋
電三三三番

男女車掌募集（三名）
1. 年齢十六才より十九才まで
2. 未經驗者にても可
3. 給料其他は委細面談
合名會社　平・四倉乘合自動車
平四町目【電話五九四番】

『旨い』と一言にして盡く
神戸牛
すき焼
相始め申候
日本料理　山茶花荘
電話五二〇番

保險
安田生命
日本共立火災
東京動産火災
平代理店　井上貞治郎
平市五町目　電話六六番

夜間診療
内科　胃腸病科
花柳病科　性病科　泌尿器病科　皮膚科　肛門病科
專門
松村胃腸性病科醫院
平市南町（電一〇七番）

開業
とんかつ專門の店
御ひいきをお願致します
平市仲田町
かの家
（出前迅速）
電話四六五番

◎女車掌（三名至急募集）
1. 未經驗者に限る
2. 委細面談
3. 優遇す
平市二丁目
三井タクシー
電話六八五番

強力電氣應用
神經痛に特効
フタバの電氣治療　平中町　TEL 193

飲んで治る
腫物の妙藥
八方散
水野藥局
平市一・電六九九

太鼓樂器各種
▽神社佛閣用太鼓
▽武徳道場用太鼓
▽歡迎送用音樂隊樂器（タナベ製品）
……カタログ進呈……
（サ）
平市六町目
佐藤太鼓樂器店
電話四八三

耳鼻咽喉科
レントゲン科
醫學博士　高柳博明
平市驛前【電話三三六】

小兒科
内科
平市南町
志賀醫院
（入院ノ需ニ應ズ）
電話一六二番

内科
外科
一般
金成醫院
金成忠義
平市鎌田町【電話三五八番】

内科外科
エッキス光線
産婦人科
院長　安齋徹
入院隨意
平市田町（電話四五七番）
安齋醫院

内臓外科
レントゲン科
晝夜診療
入院隨時
北川外科
醫學博士　北川芳夫
平市新川町【電四六四】